



ひかり

令和5年5月17日
第2号



『読解力』が未来を切り拓く！

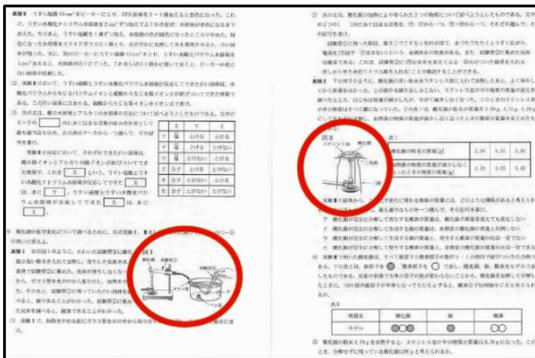
一昨日の朝、全校集会で体育館に入場した際に目に飛び込んできたのは、大型画面に大きく映し出された「あと、118日」でした。

「あと118日で、いったい何があるの？」と尋ねると、一人の3年生が頭をひねりながら「卒業式？」と答えました。そこで、ヒントを一つ。「卒業式より前、『人生初の試練』と言われるものです。さて何？」と尋ねたら、すぐに「高校入試、受験です。」と返ってきました。118日とは今年度最初の高校受験の日まで、3年生に残された『通常の授業が受けられる日』なのです。

次に、過去に実施した理科の公立高校入試問題（写真：左下）を見て、1・2年生が次のように言いました。それは、「文字が多い！」です。当然のことですが、問題文を理解しなければ正答は導き出せません。「理科の実験なのに、大量の文章を読まなければ(○で囲んだ)図や表にたどり着けないのか。」そう心がつぶやいているのを、皆さんの驚いた表情から感じました。

誰もが「志望校『合格』」を目指しています。この『合格』の二文字は、すなわち「自分が目指す高校に、『あなたに来てほしい』と言わせた証拠」とも言えます。入試という決戦の日まで、それぞれの学年に残された日数は異なりますが、共に『合格』を勝ち取るために、全校生徒で力を合わせて頑張ろうではありませんか。

今年度初めの取組は、『読解力（文章を読んで要点を理解する力）』をつける活動です。名付けて『コラム音読（新聞記事などを声に出して読み、その内容について考える活動）』です。右下の写真にある二つのコラムは、一つがアメリカの少年、もう一つが中国人親子に起こった実話を紹介したものです。5月中に、『第1回コラム音読』を実施します。月に数回、朝学習（朝読書）の時間を利用して行います。続けることで、確かな読解力を身につけていきましょう。



●●●●●●●● 教職員研修「生徒の安全を守るために」 ●●●●●●●●

5月10日(水)に、「心肺蘇生、AEDの使い方」「熱中症が疑われる症状と応急処置」「アレルギ―緊急時対応」等について教職員研修を行いました。養護の松岡先生を中心に若年の先生方が前もって説明の仕方などを考え、当日は講師となって研修全体をリードしました。

